



## 「雨が教えてくれること」

校長 坂井 敦

校庭の木々の緑もいっそう深まり、雨が教えてくれることに思いを巡らせる季節となりました。外で思いきり遊べる時間は少し減りますが、教室の中では子どもたちが落ち着いて学習に向き合う姿が増え、この時期ならではの充実した時間が流れています。

さて、3日（水）にはプール開きを迎えます。安全に十分配慮しながら、水に親しみ、体力向上につながる学習を進めてまいります。また、6日（土）には土曜参観を予定しております。新しい学年・学級で頑張るお子さんの姿を、ぜひご覧いただければと思います。限られた時間ではありますが、学校での様子を直接感じていただく機会となれば幸いです。

ところで、春休みに宮ヶ瀬ダムまでツーリングに出かけました。その際、貯水率が30%ほどで、普段は水に沈んでいる湖底の道が見えるほどの状況に驚き、強い危機感を覚えました。私たちの暮らしは、水という当たり前のように感じてしまう資源に支えられていることを、改めて実感したひとときでした。

6月は雨の季節です。時にわずらわしさも感じられる雨ですが、その一滴一滴がダムに水を蓄え、私たちの生活や自然環境を守っています。この「雨の意味」を子どもたちと考えることは、これからの社会を生きていくうえで大切な学びにつながると考えています。

本校でも、日々の生活の中で「水を大切に使うこと」や「自然の恵みへの気付き」を、各教科等や学校生活を通して丁寧に伝えていきたいと思っております。手洗いや清掃、そしてこれから始まる水泳学習など、身近な場面一つひとつが環境について考えるきっかけになります。大切なのは、特別な学習だけでなく、日常の中での積み重ねです。

また、子どもたちの成長も同じように、目に見えにくいところでゆっくりと育まれていきます。雨が大地にしみ込み、水を蓄えていくように、この時期の落ち着いた学びや生活の積み重ねが、やがて大きな力となって表れてくることでしょう。

6月は、年度当初の緊張がやわらぐ一方で、疲れが出やすい時期でもあります。本校の教職員も、日々の子どもたちの小さな変化に目を向けながら、一人ひとりに寄り添った丁寧な関わりを積み重ねています。これからもチームとして力を合わせ、安心して学び成長できる環境づくりに努めてまいります。

ご家庭におかれましても、生活リズムを整えることについてご配慮いただけますと幸いです。雨の恵みに感謝しながら、子どもたちとともに環境への意識を育てていく6月にしてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 6月の目標

- 【生活】雨の日の過ごし方を工夫しよう
- 【保健】歯を大切にしよう
- 【給食】よくかんで食べよう

